

公民館だより

61.6
由良地区
公民館

由良公民館の同和学習

館長 小松 忠 衛

健康で幸せな生活をしたい、自分に適した職場に就職して力いっぱい働きたい。これらは私達みんなが持っている願いです。この願いは、健康で文化的な生活を営む権利、教育を受ける権利、居住・移転、職業選択の自由、結婚の自由等、人として生きていく権利、即ち、基本的人権として、憲法で私達に保障されています。

ところが、今尚私達のまわりには、不合理な差別や偏見により、就職・結婚・近所づきあいなど、生活のあらゆる面で差別を受けたり、不安定な生活を余儀なくされている人々の実態があり、中でも同和地区の人々に対する差別は根強く、昭和四十年に「同和問題の緊急な解決こそ国の責務であり、同時に国民的課題である」とする同和对策審議会答申が出されて今年で二十一年、この間さまざまに事業が進められてきましたが、今尚差別の実態があります。

そこで由良地区公民館では、市民的課題と位置付けて、婦人会と共催、六十一年一月十

六日、第一回同和学習会を開催しました。映画「まごころの川」(徳島県に発生した差別事件と現在取り組んでいる。同県の同和啓発の事例)を、賞した後、二つの分會に分れて、人権と部落差別問題について、それぞれ疑問をぶつけて話し合いましたので、その概要を挙げてみます。

今尚解決されないのは、同和地区以上の人が、差別解放のために、努力していないのではないかと。子供が学校で勉強したこと(六年社会の教科書)を家に帰って話しても、年寄りには反発される。と話すのを聞く、特に心理的側面において問題が残っている。この地方は、学習の機会が少く遅れている。

昔は部落の人を家に入れなかったこともあり、結婚問題の差別の実態も知っていた。通婚ができたときはじめて解放される。部落の歴史の学習が大切。由良には部落がないので、無関係だとの考え方があろうと思う。差別する心は皆にあると思う。差別とは何か、これを無くするにはどうすればよいのか、それは研修しかない。差別される側の立場に立って考えること、いろいろの機会をとらえて、研修すること、大切。子供と話し合えるだけの基礎知識をつけること。子供は学校で、大人は公民館活動の中で

研修し、それを家にもち帰って、子供と話し合えるようにならなければ、差別は無くならない。

実態的な差別はなくなってきているが、それを見て「差別」という。こういう見方は、間違っていることを理解させねばいけない。

永い間差別された意識は、なかなか払拭できないことを理解しなければならぬ。一般の人の参加が少い。(特に青壮年層の男子)

膝つき合わせて話す効果があると思う。通婚も進んでいるが、一人ひとりが努力し、研修を深めて目的に到達する努力が大切。結婚問題は家柄の問題にし、地区の人との結婚をいやがる封建的意識がある。(統計によると、今はあまりむずかしく言わなくなつた。)

自分は差別はいけなないと考えていても、地域の考之方にも負けることもあると思う。皆んなで取組んでいく必要がある。

このような問題は、社会も自分も中途半端な勉強ではだめである。この頃は表だって言わなくなり、直接でなく遠まわしな言い方で話す。解決はむずかしい。

差別があつた場合、その人をどう助けたいか、もっともつと学習して、正しい知識を身につける必要がある。

「寝た子を起すな」といったことを、同和地区の人で言っている人もあるが、これは研修不十分では、かえって差別を広げることになるという気持ちからだ。

以上参考にして勉強していただいて、次回の学習会にご出席ください。尚、紙面の都合で、全部のご意見をお知らせできませんでしたが、お詫びします。

こあいさつ

由良小学校校長 小西 嶺 人

梅雨の候となり、田植のおわった水田には、生き生きとした緑の影が、その色合いを日増しに濃くする日々ですが、区民の皆様には、お変わりなくお越しのことと思います。

平素は学校教育推進のため、何かとお世話になり、また、ご協力ご支援をいただいたり、お礼申し上げます。心より厚くお礼申し上げます。

申し遅れましたが、四月一日の異動により由良小学校長の重責を有なうことになりました。皆様方にささえられながら、三十一世紀に地域の中心として活躍する子どもづくりを専念し、努力していきたいと決意しております。

さて、今の子どもの特徴の一つとして、根

報 告 (一)

理事 平 間 克 己

気がないとか、自己中心的とか色々と言われておりますが、本年度学校では、「励まし合目標の一つにあげて取り組んでおります。どのような時にも、お互いに尊重しながら、強いつながりとはげまし合いの中で、勉強や物事をやり通す力は、生きる力のもととなり、身につけておきたい大切なことだと思います。教育目標のうち一つに、「進んで学習にはげむ子ども」をあげて取り組んでいるわけですが、これもまた一生を通じ、自ら学びとり、自分を生かして行くことに通じる大切なことと考えています。申すまでもなくこれらは、学校教育だけで身につくものではありません。従来より、育友会や家庭・地域のご協力と学校とが一体となって大きな成果をあげていた。充実に期したいと願っています。

ますます複雑化、高度化する社会の中で、生涯教育の一環としての重要な役割と、積極的な活動を進められたいと願います。由良公民館に敬意を表し、一層の発展を願います。

乗車の輪
広げて守ろう 宮津線

- 一 昭和六十一年度運営審議会委員(順不同敬称略)
- 中西 嘉重郎 自治連合会長、本野路自治会長
 - 小室 一治 脇自治会長
 - 中西 藤兵衛 宮本自治会長、市議会議員
 - 山田 正美 港自治会長
 - 岸田 義之助 下石浦自治会長
 - 山下 憲弥 上石浦自治会長
 - 山下 伊左衛門 市議会議員
 - 藤本 秀雄 前公民館長
 - 四方 寿朗 学識経験者
 - 小西 嶺人 由良小学校校長
 - 田中 一雄 由良小学校教育友会長
 - 山下 栄一 栗田中学校教育友会長
 - 中西 晴子 由良婦人会長
 - 中西 文貴 由良老友会長
 - 中西 一義 由良子供会連絡協議会長
- 二 本年度の事業
- 一 公民館
 - (1) 成人式 一月十五日
 - (2) 該当者の確認、連絡及び当日の世話
 - (3) 新生活運動 時期一任
 - (4) 自治学級(1)、市政懇談会、村おこし
 - (5) 無形文化財保存 農閑期
 - (6) 太鼓、祭囃子、踊
 - 二 文化部

- (1) 公民館だより 年三回(六月・十月・三月)
- (2) 座談会 年一回
- (3) 自治学級の、由良を良くする会、あいさつ運動
- (4) 盆おどり(盃蘭盆)
 - 八月二十三日 午後八時より午後十時まで
 - 会場、由良の里センター前広場
- (5) 第九回史跡めぐり 九月末か十月初め
- (6) 文化祭
 - A. エレクトーン・ピアノ演奏会(十一月三日)
 - B. 作品展 十一月十六日(日) 婦人会と共催
 - C. 同和学習 一月下旬頃 婦人会と共催
- (7) 自治学級の
 - の第七回四部対抗田舎大会 二月第一日曜日
 - 各地区より五名の出場選手
 - (8) 図書購入と奨励 毎日貸し出し
 - 但し、土曜日・日曜日は休館
 - (9) 郷土史の研究と推進 毎月十日
 - 歴史を語る会
 - (10) 講演会 年一回 婦人会と共催
 - 自治学級(4)
- (11) 部員(敬称略)
 - 部長 小谷 一郎 副部長 中西 信好
 - 部員 矢野 孝記 奥野 彰 枝川 隆亮
 - 山口 正憲 中西 一義 上田 泰司
 - 千阪 宏 山下 均 山下 哲史
 - 中西 晴子 榊岡 博子

- (1) 第三十一回由良ヶ岳登山 四月二十九日(祭)
 - 午前九時出発、午後二時下山
- (2) 第六回団体対抗ソフトボール大会
 - 六月一日 午後一時より午後五時まで
 - 四部対抗 一般男子ソフトボール
 - 青年男子軟式野球 時期未定
- (3) 綱引大会 四月
- (4) 四部対抗 男女
- (5) 第七回四部対抗男女バレーボール大会
 - 二月第一日曜日
- (6) スポーツサークル(毎週)
 - 使用会場(体育館)
 - 小林寺拳法 月曜日、木曜日
 - 剣道 火曜日、金曜日
 - バドミントン 水曜日、土曜日
 - 使用会場(グラウンド)
 - 少年野球 土曜日、日曜日
 - 由良野球クラブ 日曜日
 - 陸上 日曜日
- (7) 部員(敬称略)
 - 部長 岸 田 剛 副部長 森 本 松 二
 - 部員 石田 正敏 中西 隆光 田中 昭義
 - 中西 英貴 大森 章 弘 山田 博義
 - 岸田 秀樹 杉本 政子 岡本 美佐子
 - 兼剣道講師 小室 文雄 瀬野 吉也 北野 董

分館長（敬称略）

脇野地区	北野	董
宮本地区	坂本	同
浜野路地区	中西	房雄
港地区	藤本	修
下石浦地区	岸田	義之助
上石浦地区	山下	弘

報 告 (二)

第二十一回由良岳登山 四月二十九日
 定刻の午前九時、由良小学校グラウンドに登山参加者が集まる。小松公民館長より力強い挨拶のおと、三三五五と家族連れで山頂に目ざして登る。
 今年、特に読売新聞社宮津支局が由良ヶ岳登山に関心を持たれ、記者を派遣し、新緑に美しい20年と見出しで掲載、記者の方も定刻前に小松技グラウンドに出張、登ろうと会長長四方寿朗先生に、詳細に亘り二十年間の経過等を聞き、「杖をついたお年寄、幼児が両親に助けを借りながらの約五時間の行程は、住民同士、親子のコミュニケーションの場」とも書いてあった。
 当日の登山者は、百七十一名（昨年は、二百二十四名）。中には栗田、西舞鶴の方

で毎年参加し、顔馴染みの方も種々、今回は宮津キリスト教会の親子三十二名の参加もあった。
 災害から守っている由良ヶ岳を、宝の山として、一か年に一回位は、多くの地元民も登って戴きたいと思えます。
 第六回団体対抗ソフトボール大会
 日時 六月一日（土曜日）午後一時
 会場 由良小学校グラウンド
 参加チーム 育友会A組、育友会B組、消防団、郵便局、舞鶴、農協組、公民館
 第一試合以外には、一打逆転の熱戦であった。特に、舞鶴組より紅一点の出場。彼方は良く打ち良く守り、試合のムードを盛り上げ、特に三位決定戦の育友会B組と郵便組との戦いは、最後の最後まで決着し兼ねる接戦であった。
 成績
 第一回戦 消防団B 1-3 育友会A
 公民館 4-10 郵便農
 三位決定戦 育友会B 4-13 郵便農
 優勝戦 公民館 12-18 消防団
 尚、舞鶴信用金庫由良支店より、優勝チームに対し、ビール一打の御寄附を戴き、紙面にて厚くお礼申し上げます。
 ○ ○ ○

- 三、図書室より新着本の御案内
- (1) 俳句入門（はじめのはじめ） 村田 修
 - (2) 短歌入門（はじめのはじめ） 安永 落子
 - (3) 夜の獲物 勝田 梓
 - (4) 女の口髭 田辺 聖子
 - (5) 聖歌配列（上） 松本 清張
 - (6) 聖歌配列（下） 松本 清張
 - (7) 中村勘九郎茶屋ばなし 関 容子
 - (8) 伯爵夫人の肖像 杉本 苑子
 - (9) おとはは野となれ 曾野 綾子
 - (10) ニンブル 倉本 總
 - (11) 寂庵説法 櫻内 寂庵
 - (12) まぼろしの獣 西村 寿行
 - (13) 万灯火 渡辺 喜典
 - (14) 天女の末裔 島井 加南子
 - (15) 平安朝かわら版 京都新聞社
 - (16) バドミントン（基本レッスン） 阿部 一佳
 - (17) テニス戦術一五〇（イラストで見ると） 小清水 英司 他
 - (18) ストレンヂ体操（テイリー） 安田 矩明 他
 - (19) 実戦剣道 恵土 孝吉 他
 - (20) 実戦バレーボール（上） 日本バレーボール協会 指導普及委員会
 - (21) 実戦バレーボール（下） 京都新聞社
 - (22) 京都丹波丹後の伝説 上野 淳一郎
 - (23) 読むクヌリPART1 上野 淳一郎
 - (24) 読むクヌリPART2 遠藤 太嘉志
 - (25) ゲートボール 吉岡 たすく
 - (26) 子どもは話が大好き 長田 武正
 - (27) 野草図鑑（つね植物の巻）

- (28) 野草図鑑（ゆりの巻） 長田 武正
- (29) 野草図鑑（すすきの巻） 長田 武正
- (30) 野草図鑑（たんぽぽの巻） 長田 武正
- (31) 野草図鑑（すみれの巻） 長田 武正

今回、詩吟吟詠の会が、一般サークルとして生れましたので、御紹介致します。
 流 派 神心流 尚道館（初心忘るべからずの精神）
 由良教場主任 山田常治

吟 道
 一吟は是れ心の創作也
 一吟は是れ心の感也
 一吟は是れ心の交流也
 一吟は是れ心の音律也
 一吟は是れ体の鍛錬也
 内容
 1 詩吟漢詩 2 和歌 3 今様
 4 短歌 5 俳句 6 尺謡
 練習日 月一回く三回 現在は毎木曜日
 場所 いこいの家 由良の里センター
 時間 午後八時より十時迄（約二時間）
 問い合わせ先

山田 常治	電 六〇一〇一六八
北野 誠治	六〇一〇四七一
犬森 章弘	六〇一〇〇一ニ
井之上 勝子	六一〇五二四

宮津線存続は

由良地区民の願い

国鉄は、四月七日宮津線を第三次廃止対象路線として選定し、運輸大臣に申請されました。これは由良地区民にとって大変なことです。その昔宮津線の開通と共に、都会の方の別荘地として、又、海水浴場としての臨海学校に遊場として長い歴史をもち、宮津線と共に歩んで参りました。当地では、親光へ海水浴、みかん狩り、魚つり、由良ヶ岳登山、史蹟巡り等々）以外に主な産業もなく、将来共に宮津線は欠く事の出来ない交通機関であり、又、地元には中学校、高等学校、大きな勤務先もない由良にとって、宮津線は、学生やサラリーマンの唯一の通学・通勤の足であり、マイカーが増えたと言うものの、冬の茶具海岸や藤津峠の難所あり、夏の観光シーズンには、車の停滞で遅刻や事故の発生はしばしばであらうと思ひ、その上通学や通勤者が路線バスに切り換えられたら、道路交通難は、ますますつのるばかりです。又、老齢化する当地の老人の健康維持のための通院や、幼児をもつ母親の検診等々、宮津線はこの方にとって、大切な命綱であります。そこで、この現状をお互いに理解し、廃止申請が承認されないように、行政に任せるだけでなく、私達地区民が総意を結集して、関

係機関に働きかけるべく、私達の宮津線を守ろうと、

“宮津線存続由良地区総決起集会”を開催すべく、各団体代表者集りご相談申し上げ、去る五月十日夜、由良の里センターにおいて実施いたしました。

当日は一五〇名の動員予定で計画して参りましたが、二〇〇名に余るご参加があり、座席が不足して、数多くご迷惑を掛け申し訳ありませんでした。

有田事務局長から開会宣言の後、実行委員長の中西自治連会長の挨拶があり、終りに、私が生まれた時に出来た宮津線がなくなることは、親を失うような断腸の思いがする。と次ながらに話した。続いて来賓の徳田宮津市長さんから、宮津線の現況と存続のためにと、宮津線がおかれて現況について、詳しくご説明があり、続いて徳本府議会議長さん、前沢府宮津地方振興局長さんから、宮津線存続のために、いろいろご説明や激励のご挨拶がありました。続いて、激励電報披露の後、各団体より、宮津線存続の訴えが出されました。

由良小児童代表山下君は、石浦から通学して、実感として、これ以上車がふえれば交通事故もふえ、自然が破壊される。なくなったら困るよ宮津線と切な願いが出された。乗田中学校生徒会代表や宮津高校通学生代表

の方からは、通学の足がなくなる。バス通学では、冬期や車停滞時は、学校に遅刻し勉強がおくれるし、ゆっくりクラブ活動もできないと、青壮年代表からは、若い者のUターン現象に逆行して、ますます過疎化が進む一方、又、婦人代表の方は、遠方の親戚へ行くのに車で行ったら道路状況が悪く予定より長時間がかかったと実感をお訴え、老人代表の方からは、医療機関へ通う道が奪われる。宮津線は我々にとつては生命線であると。親光協会代表者からは、長い歴史をもつ由良の親光地に終止符が打たれる。又、由良鉄橋が危険というデマがとんでいるが、塗装さえすれば、ここ七八十年はまだまだ大丈夫だとその専門家は言

つておられるとのことでした。続いて、文珠地区代表の方から、激励のご挨拶があり、共に手をとり合つて、存続を目ざそうと呼びかけがありました。

次に、小室自治連副会長より、存続希望書が朗読され、中西六副実行委員長より今後の運動について、

一、京都府知事及び運輸大臣へ存続希望書の提出

二、京都府知事への陳情

三、中央へ葉書を出そう

四、乗車運動の促進

等について提案され、満場一致の拍手でご賛同を得ました。

最後に、宮津線存続にカンパロー“を全員で三回コールして終了いたしました。今後も宮津線存続にご協力下さい。

宮津線存続由良地区実行委員会

健康シリーズ

やぶにらみの記

中 風(脳血管障害)

四方寿朗

昭和五十六年癌に追い越されるまで、死亡原因の第一位を保っていたのが、この脳血管障害である。大別すると、①くも膜下出血

②脳出血 ③脳梗塞となる。

くも膜下出血は、脳動脈瘤の破裂などで脳の表面に出血する。高血圧や動脈硬化とは直接関係ない場合が多く、最近では大抵手術が可能となった。

脳出血は高血圧が原因で、比較的若い人が仕事で急に倒れる場合が多い。降圧剤の進歩や健康管理がよくなったため、最近は少なくなった。

その代りにふたりの脳梗塞である。老人に多く、朝起きると茶碗が持てない、ものが言いにくいなどの症状ではじまる。脳の血管がつまって起きる。

由良でも昭和四十五年頃までは脳出血で亡くなる人が多かったが、最近では脳梗塞が多

く、これが直接死因となることは少ない。

夏期の安全を願って

由良駐在所 出口 雅裕

一 水難事故防止

今年も例年どおり、由良海水浴場が、かなりの海水浴客で賑わうものと思われま... 昨年度は、不幸にも一名の水死者がでた... 昨年度は、不幸にも一名の水死者がでた... 昨年度は、不幸にも一名の水死者がでた...

二 犯罪防止

先頃、由良において車泥棒が、盗んだ車を乗り捨てて逃げています。また、最近空巣も発生してあり、予断を許しません。犯罪を生みやすい土壌をつくらな... 確実には、家の戸締りを、車から離れるときは、ドアロックを...

団体対抗 ソフトボール大会

森本 松二

暑からず、寒からず、絶好のコンディションの中、第五回団体対抗ソフトボール大会が六月の初めに、由良小学校グラウンドで行われました。さなぶり大会と銘打ったので、和気あいあいとした中で進行し、団体親睦にふさわしい大会となりました。毎度、優勝候補と自らが認めるところの消防チーム、相変わらず元気のいい声で、グラウンドに響き渡っていました。大所帯とは言えないものの、二チーム選出で、世話役さんが大変だったろうと想像のつく育友会A・Bチーム、戦力が分散したせいかもしれませんが、実力を出しきれなかったようでした。今回初参加の金融チーム、以前の郵便局単独チームから、農協・舞鶴信用金庫と合同で混成チームで、その選手の中で紅一点、会場全体のなごやかなムードは、実はここにあったのかも知れません。そして公民館チーム、それぞれが持味を出し、勝負はそれぞれのけと言えものの、好ゲームが展開されたと思えます。私も最近の運動不足を、一気に取り返そうと張切ったわけですが、思ったとおり、翌朝

① 自転車を置いておくときは、鍵を必ずかける。

② ヘルメットの着用。ヘルメットは、交通事故で死亡した者の多くは、ヘルメットを着用していません。ヘルメットを着用することで、頭や顔を強く打って死亡していません。

三 交通事故防止

昨年由良管内で、三名の交通事故死亡者を出してしまいました。本年もすでに一名が亡くなられています。これ以上の交通事故死亡者を出さないためにも、

③ シートベルトの着用。シートベルトは、交通事故で死亡した者の多くは、シートベルトを着用していません。シートベルトを着用することで、死亡を免れることができます。

④ ヘルメットの着用。ヘルメットは、交通事故で死亡した者の多くは、ヘルメットを着用していません。ヘルメットを着用することで、頭や顔を強く打って死亡していません。

⑤ ヘルメットの着用。ヘルメットは、交通事故で死亡した者の多くは、ヘルメットを着用していません。ヘルメットを着用することで、頭や顔を強く打って死亡していません。

⑥ ヘルメットの着用。ヘルメットは、交通事故で死亡した者の多くは、ヘルメットを着用していません。ヘルメットを着用することで、頭や顔を強く打って死亡していません。

起きた時の身体の痛かったこと、出勤するのが本当にいやになってしまいました。改めて運動不足を痛感した次第です。由良地区に籍を置く団体との、こういった形での交流には、他では造り出せない有意義なものがあると思います。各分野で活動している人達と、ソフトボールでの交流、今後も参加チーム数を増しなから、続けたい場。このように思います。

夏です

水のシーズンです

水の事故から

子供を

守りましょう

